

韓国環境部プレスリリース 2020 年 1 月 23 日付

京畿道、江原道の野生いのしし弊死体から ASF ウイルス検出 (野生いのしし 99-104 例目)

<http://www.me.go.kr/home/web/board/read.do?pagerOffset=0&maxPageItems=10&maxIndexPages=10&searchKey=&searchValue=&menuId=286&orgCd=&boardId=1214115&boardMasterId=1&boardCategoryId=&decorator=>

環境部所属国立環境科学院(院長チャン・ユンソク)は、京畿道（キョンギド）坡州市（パジュシ）、漣川郡（ヨンチョングン）および江原道（カンウォンド）華川郡（ファチョングン）で発見された野生いのしし死体 6 個体から ASF が検出されたと 1 月 23 日明らかにした。

坡州市（パジュシ）長湍面（チャンダンミョン）、漣川郡（ヨンチョングン）旺澄面（ワンジンミョン）および百鶴面（ペッカミョン）で発見された 3 個体は環境部捜索チームとフェンス管理者によって 2 次フェンス内で発見され、華川郡（ファチョングン）華川邑（ファチョンウプ）で発見された 3 個体は環境部捜索チームによって広域フェンス内で発見された。

坡州市（パジュシ）、漣川郡（ヨンチョングン）、華川郡（ファチョングン）は野生いのしし ASF 標準行動指針により試料を採取して現場消毒と共に死体を処理した。

国立環境科学院は 1 月 23 日死体から ASF ウイルスを検出したことを関係機関に通知した。これで坡州市（パジュシ）は 39 件、漣川郡（ヨンチョングン）は 30 件、華川郡（ファチョングン）では 16 件の野生いのしし ASF 陽性事例となり、全国的には 104 件になった。

国立環境科学院生物安全研究チーム長は“今回の死体は全て既存感染地域内で発見された”として、“この地域では感染死体がさらに出てくること可能性があるため捜索を強化し死体を迅速に除去する”と話した。

以上